

がん統計（院内がん登録）

【院内がん登録の対象】

入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初回の診断がおこなわれた腫瘍です。

初回の診断とは、自施設における当該腫瘍に関して、初めての診断及び/又は治療等の診療行為のことを探し、入院・外来を問わず自施設において当該腫瘍に対して初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍をがん登録の登録対象としております。

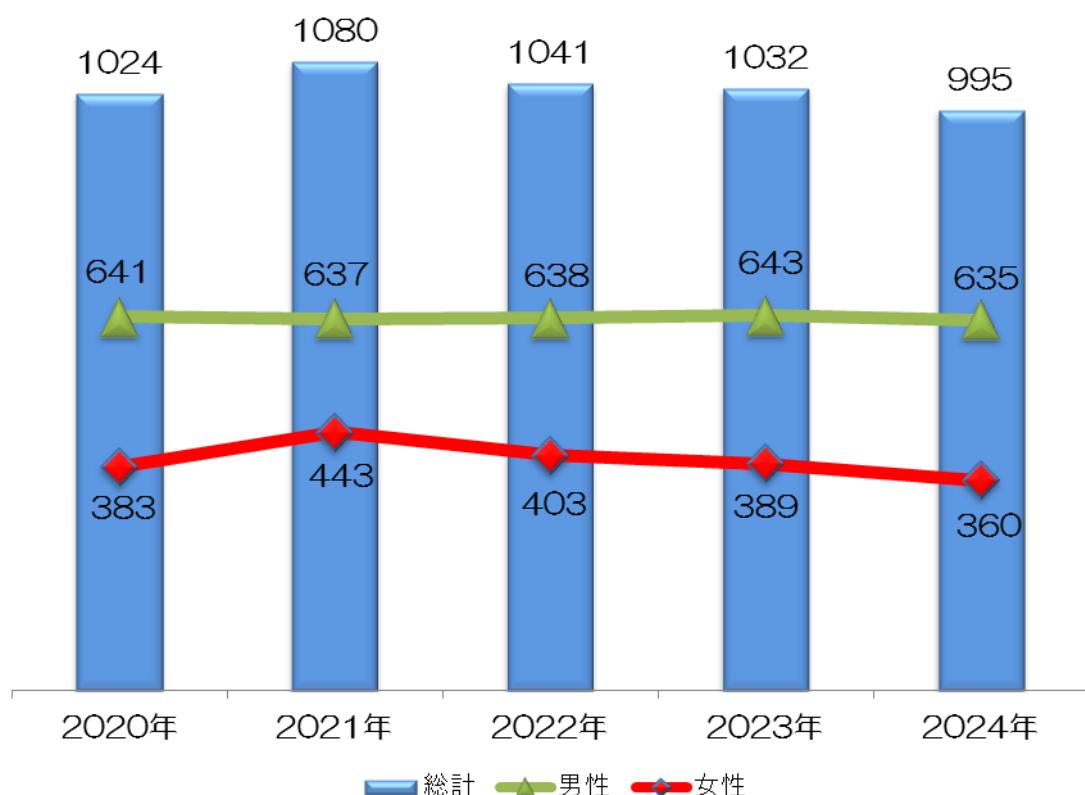
各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例・再発例を含み、加えて、治療をおこなわない経過観察症例も含まれます。

2016年1月1日以降の新規診断症例の登録からは、1腫瘍1登録となるように1腫瘍1登録の原則に基づき、同一患者に複数のがん病巣が存在し、それらが臨床的・病理学的に独立した“がん”と判断された場合は、多重がんであるとされます。

多重がんの判断については、2018年症例よりSEER2018準拠ルールに基づいて登録しています。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではありません。

本集計では、2026年1月14日現在における自施設で登録されている院内がん登録データベースより抽出し集計した結果を掲載しております。

年別・性別 院内がん登録総数



年別・部位別 院内がん登録数

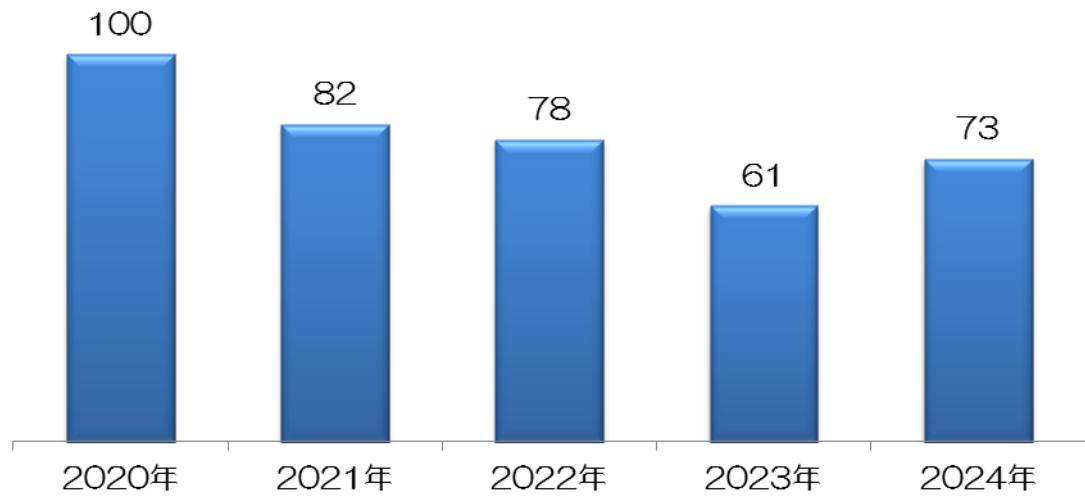
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	総計
大腸	198	238	258	219	191	1104
前立腺	110	114	111	157	155	647
胃	100	82	78	61	73	394
悪性リンパ腫	68	77	87	89	57	378
白血病	78	85	69	70	75	377
他の造血器腫瘍	65	73	44	43	51	276
膀胱	41	38	41	48	59	227
皮膚（黒色腫を含む）	47	39	30	41	45	202
肺	52	39	37	28	26	182
脾臓	29	38	53	26	19	165
子宮（子宮頸部・子宮体部）	24	32	27	37	39	159
腎孟・尿管	30	24	22	23	15	114
多発性骨髄腫	18	21	18	31	24	112
脳・中枢神経系	26	16	18	19	29	108
腎	21	29	16	19	20	105
甲状腺	26	21	19	24	14	104
肝臓	19	26	17	14	21	97
胆嚢・胆管	18	21	28	14	13	94
食道	14	16	19	14	17	80
乳房	(7-9)	10	(4-6)	13	13	51
卵巣	0	(4-6)	(7-9)	12	(7-9)	32
小腸	(7-9)	(4-6)	(7-9)	(1-3)	(7-9)	30
原発不明癌	(4-6)	(4-6)	(4-6)	(4-6)	(1-3)	21
膣・外陰	(1-3)	(4-6)	(1-3)	(4-6)	(1-3)	14
口腔・口唇	(1-3)	(4-6)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	12
下咽頭	0	(1-3)	(1-3)	(4-6)	(1-3)	11
中咽頭	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	11
骨・骨軟部	0	(1-3)	(4-6)	(1-3)	(1-3)	11
胸腺	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)	(7-9)
精巣	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(7-9)
喉頭	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)	(4-6)
陰茎	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)	(4-6)
鼻腔・副鼻腔	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)	0	(4-6)
肛門/肛門管	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(4-6)
胸膜中皮腫	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)
大唾液腺	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)
原発不明-頸部リンパ節転移	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	0	(1-3)
陰のう	0	(1-3)	0	(1-3)	0	(1-3)
骨盤内	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
上皮小体	0	0	0	(1-3)	0	(1-3)
副腎	0	(1-3)	0	0	0	(1-3)
上咽頭	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
卵管	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
眼	0	0	0	0	(1-3)	(1-3)
胸壁	0	0	(1-3)	0	0	(1-3)
総計	1024	1080	1041	1032	995	5172

※症例数が1例以上9例以下は、症例数を表記しておりません。

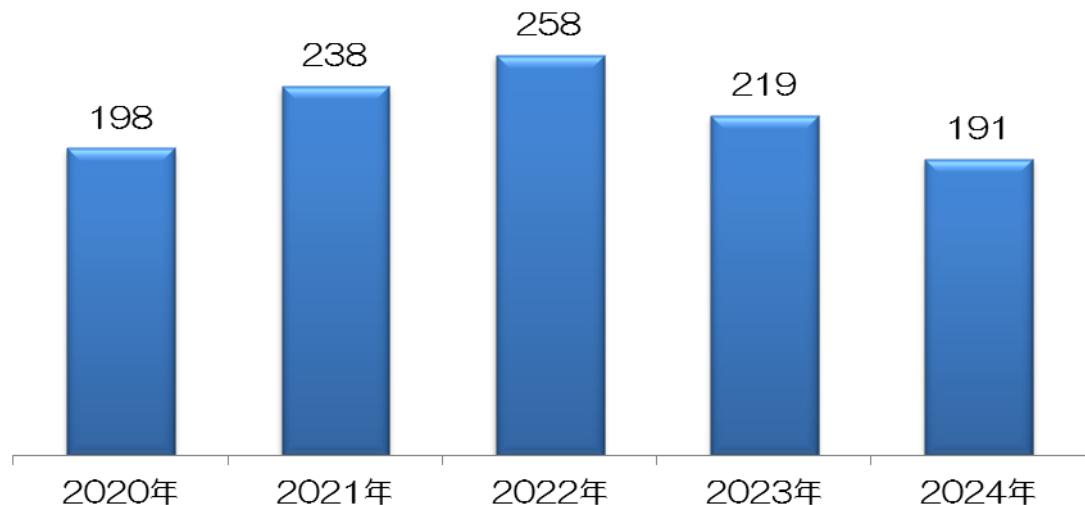
年次別登録数（主要 5 部位）

※9 例以下については、症例数を表示しておりません。

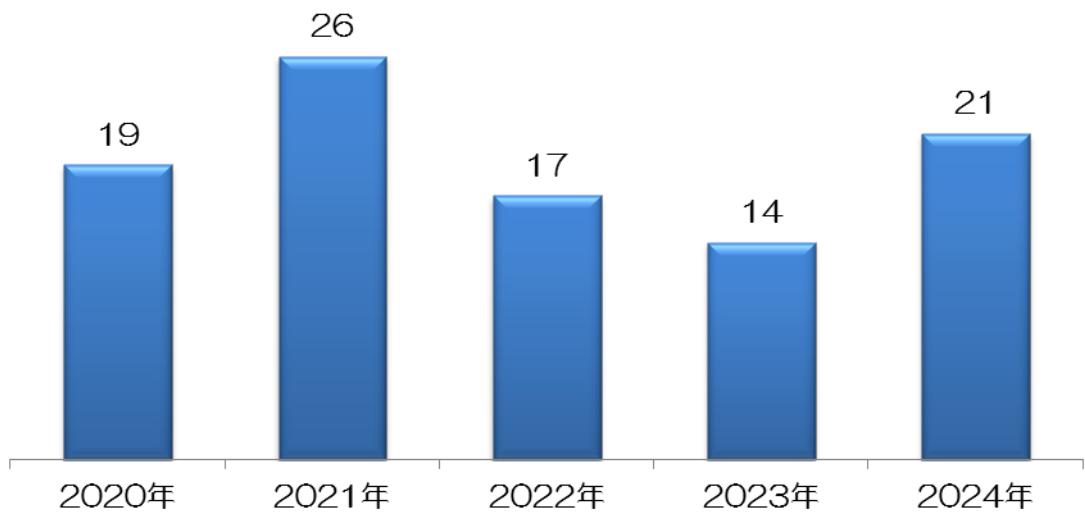
胃



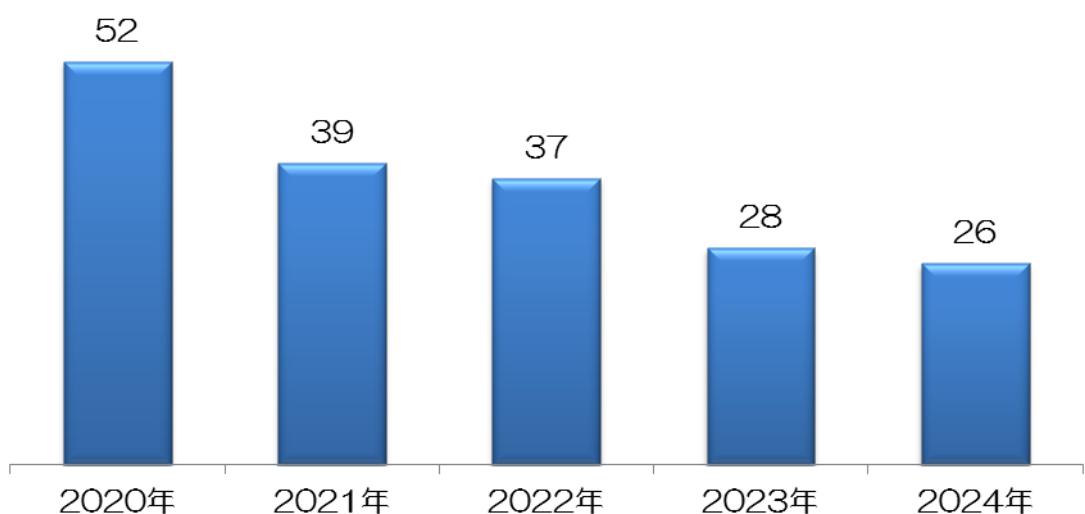
大腸



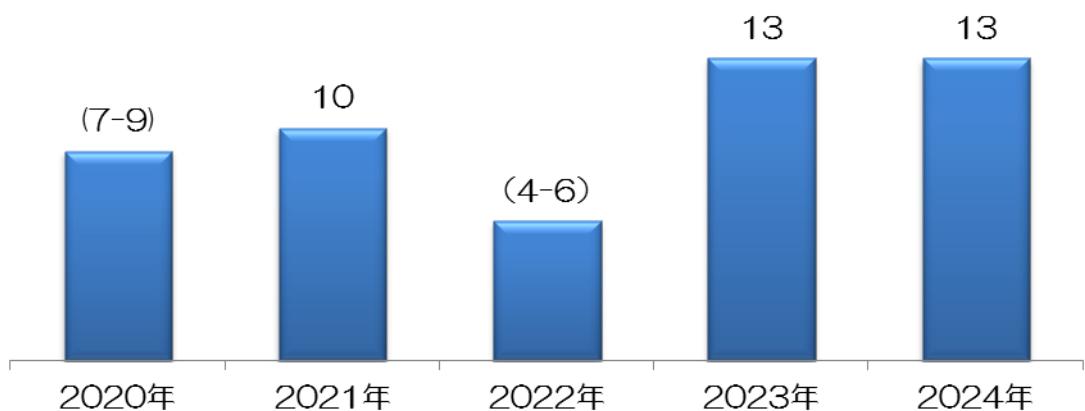
肝臟



肺



乳房

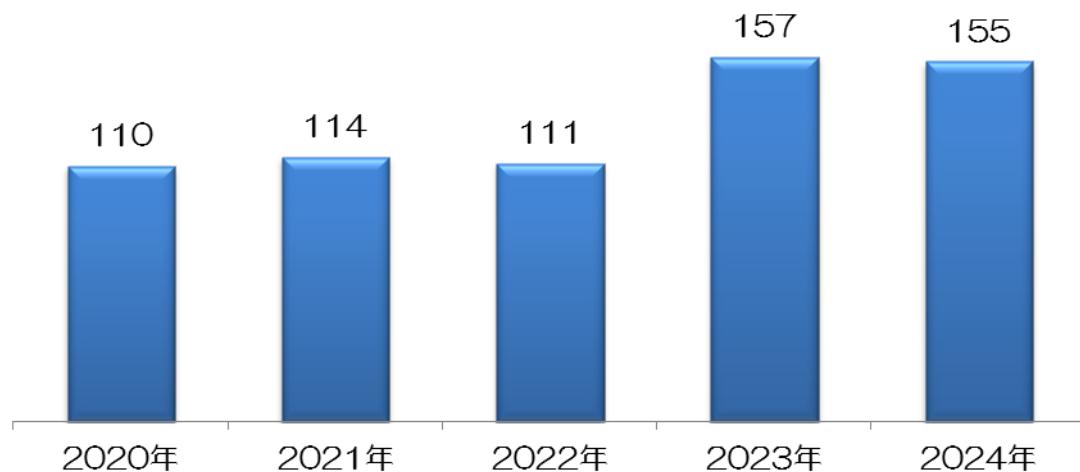


年次別登録数（主要 5 部位以外）

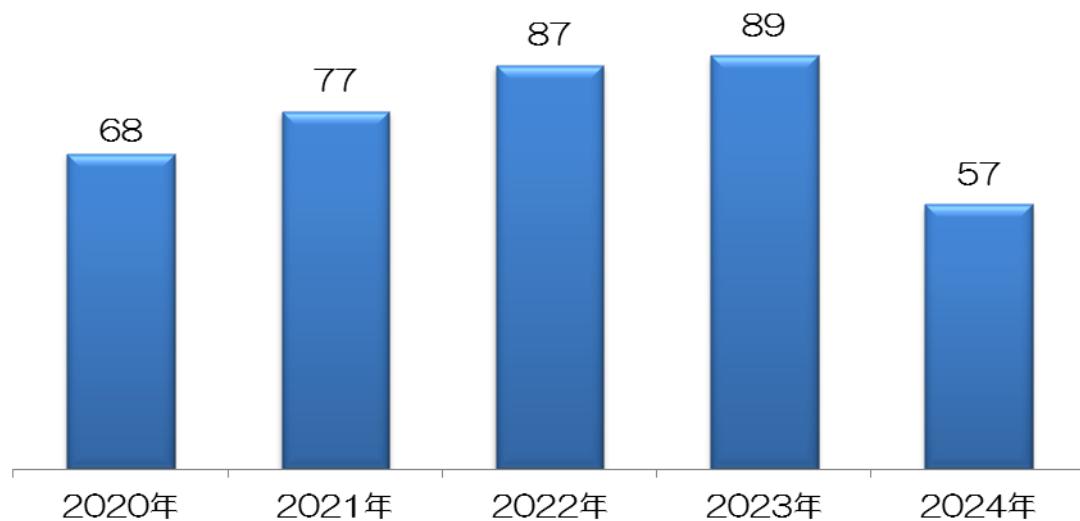
※5 年間の総症例数が 50 例以上のものを掲載。

※9 例以下については、症例数を表示しておりません。

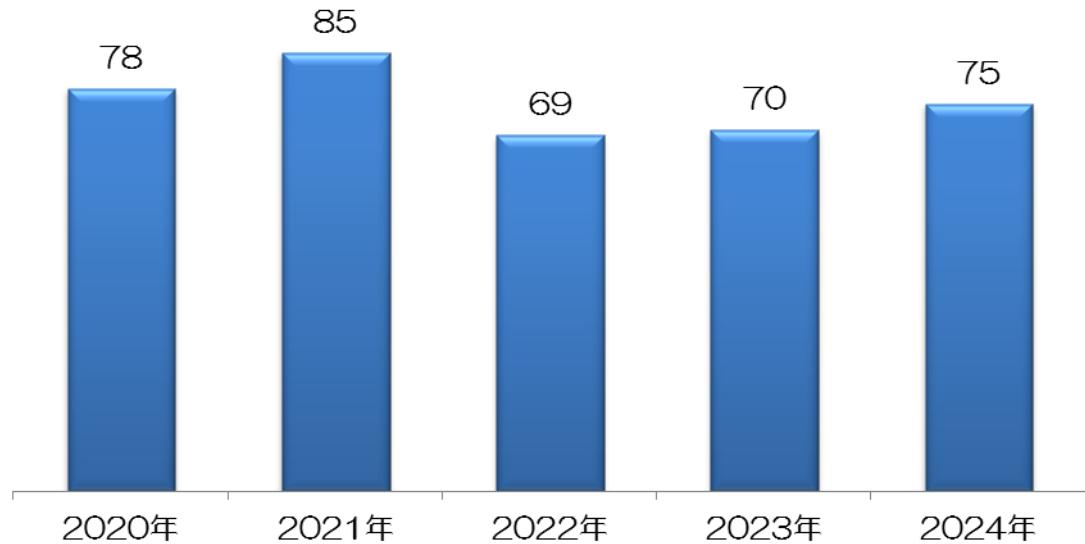
前立腺



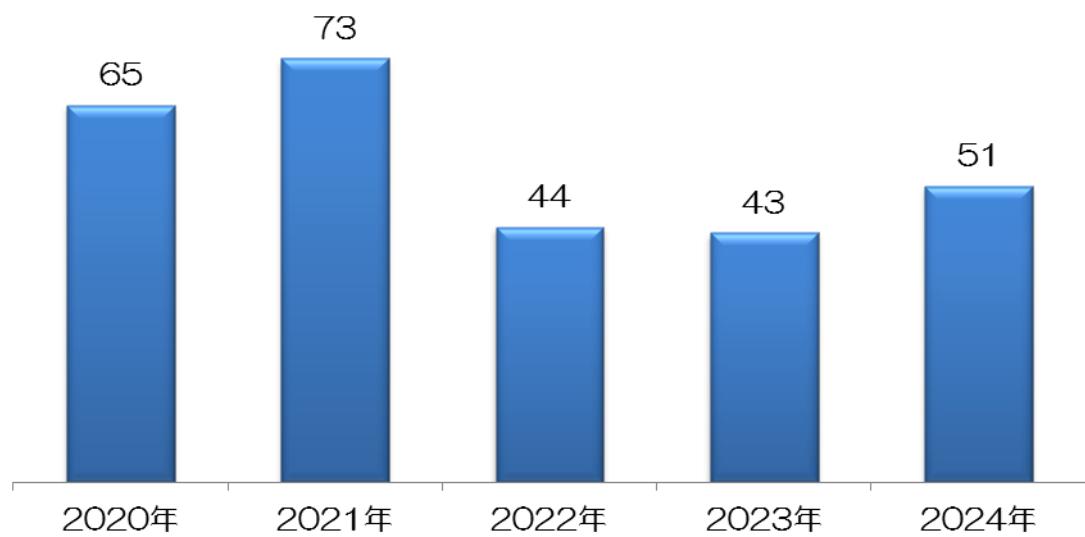
悪性リンパ腫



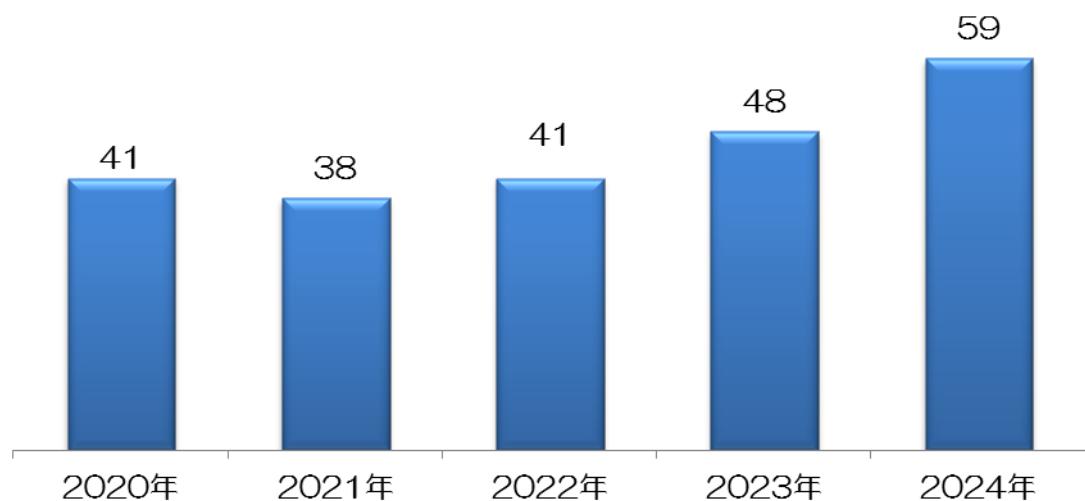
白血病



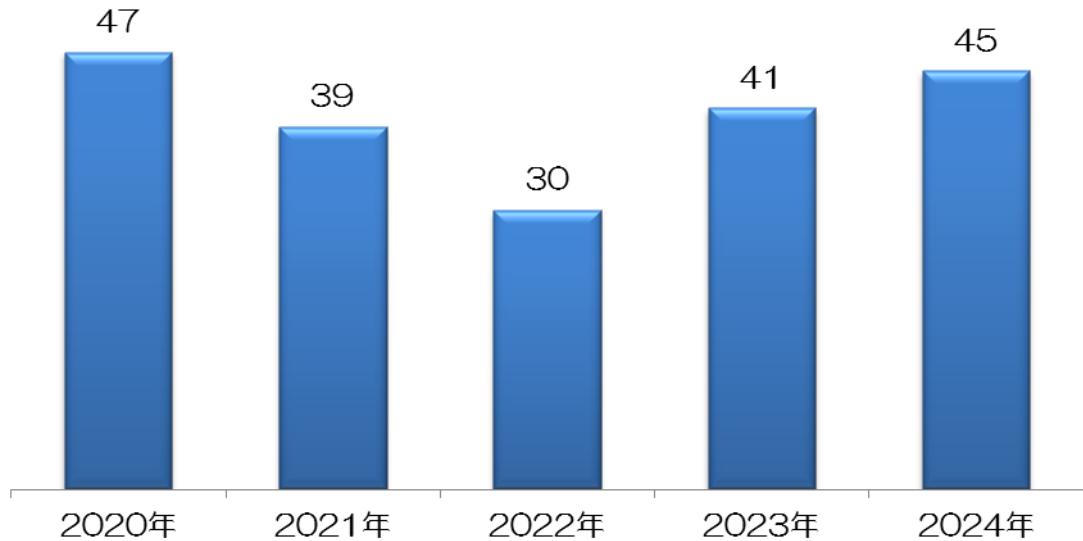
他の造血器腫瘍



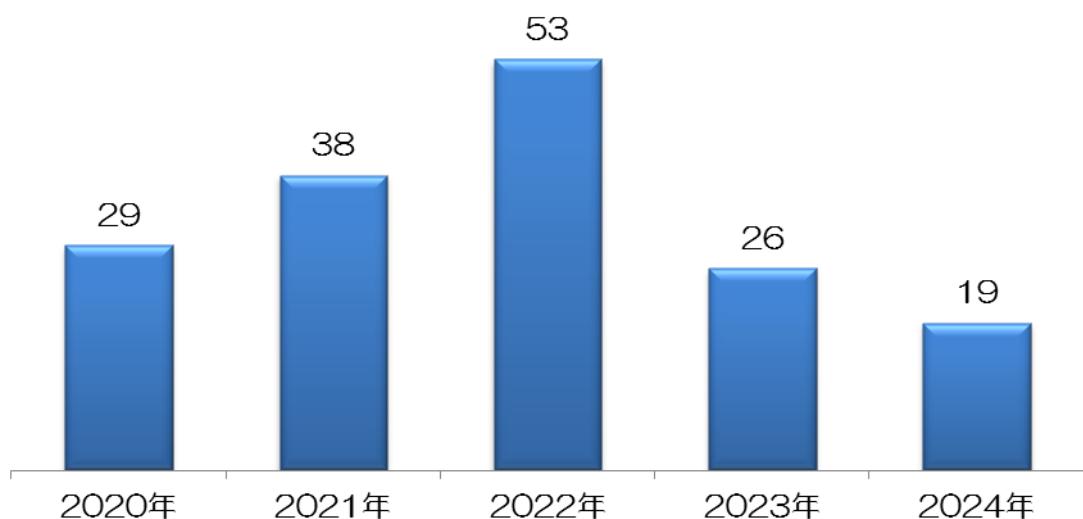
膀胱



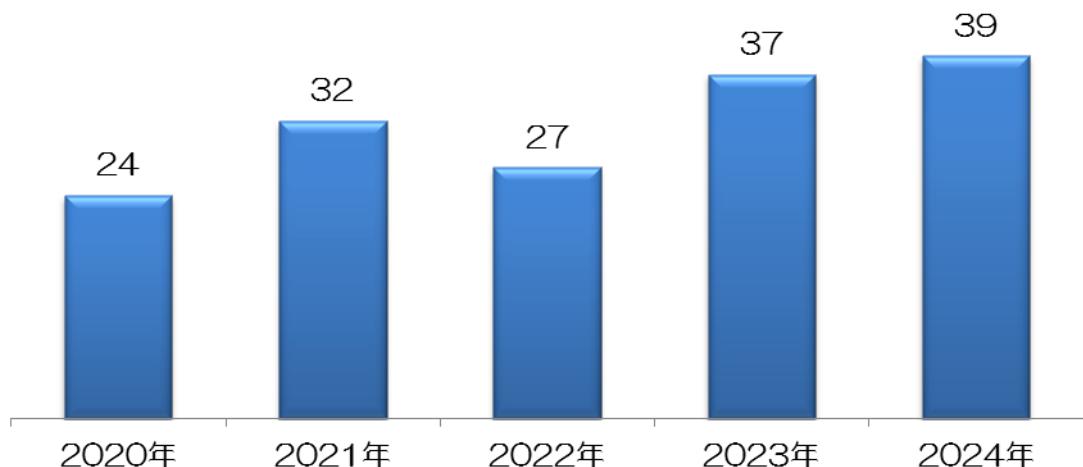
皮膚（黒色腫を含む）



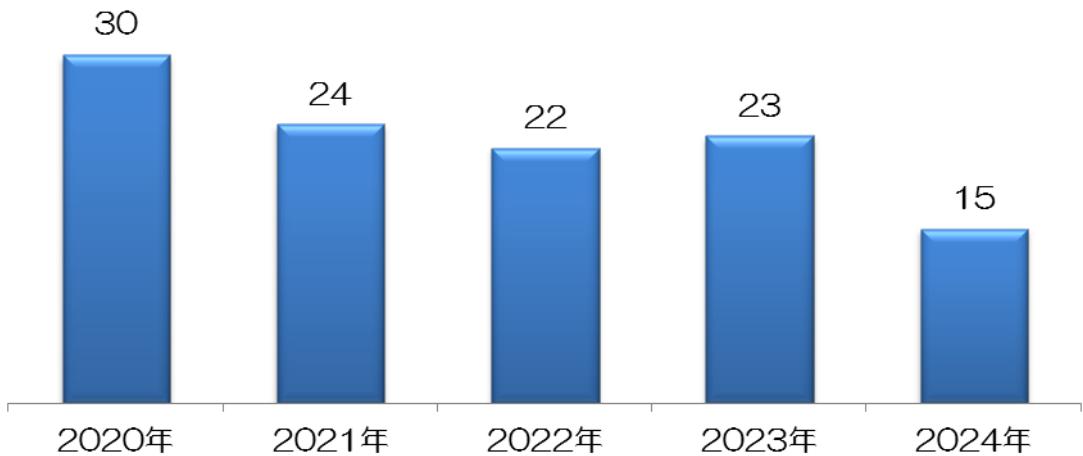
膵臓



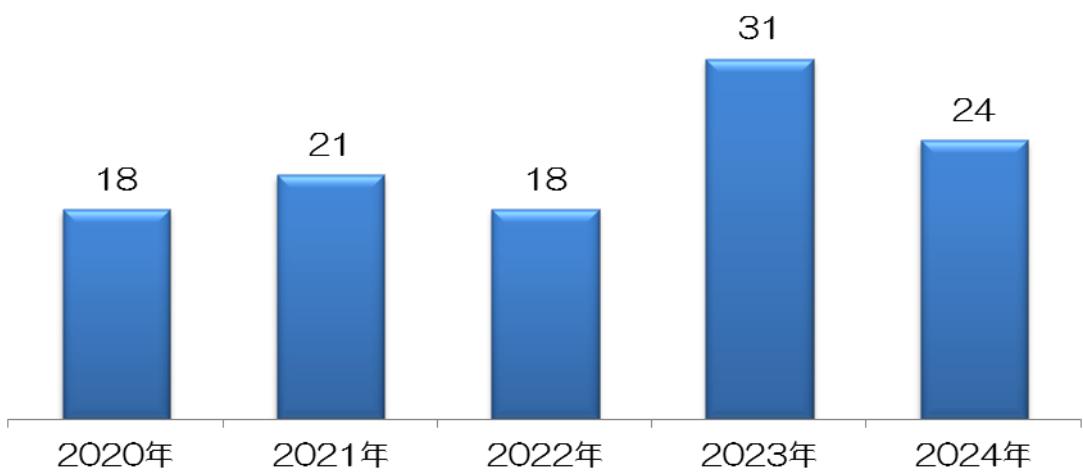
子宮（子宮頸部・子宮体部）



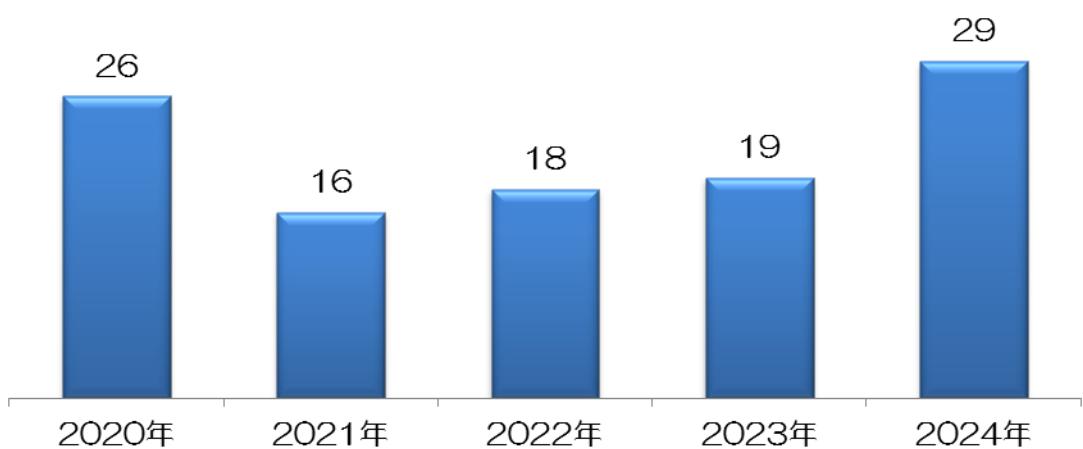
腎孟・尿管



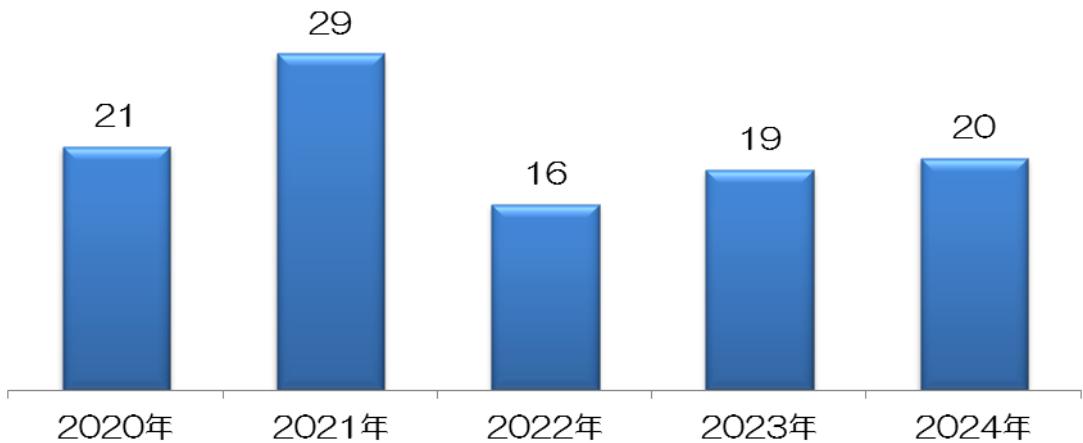
多発性骨髓腫



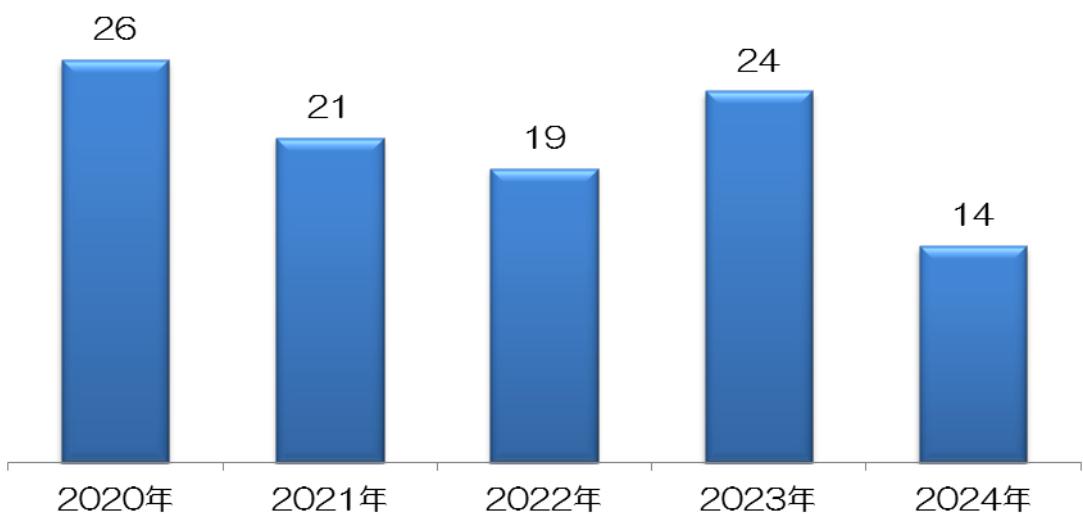
脳・中枢神経系



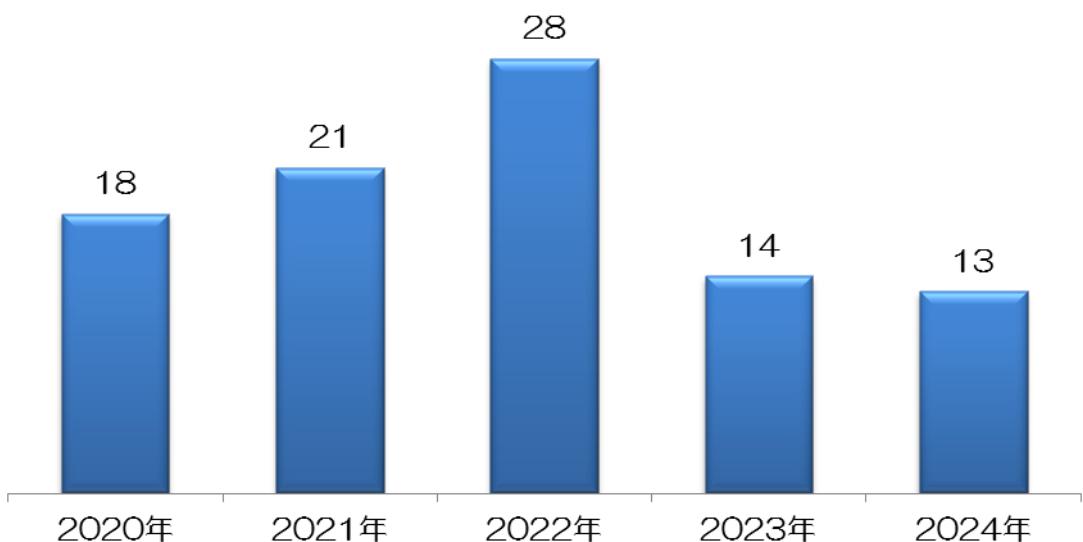
腎



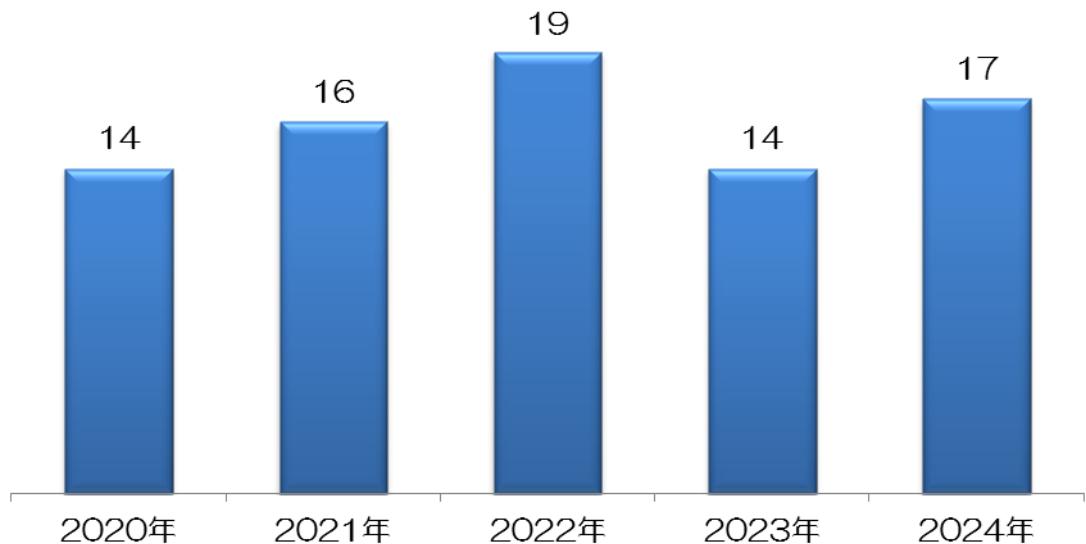
甲状腺



胆囊・胆管



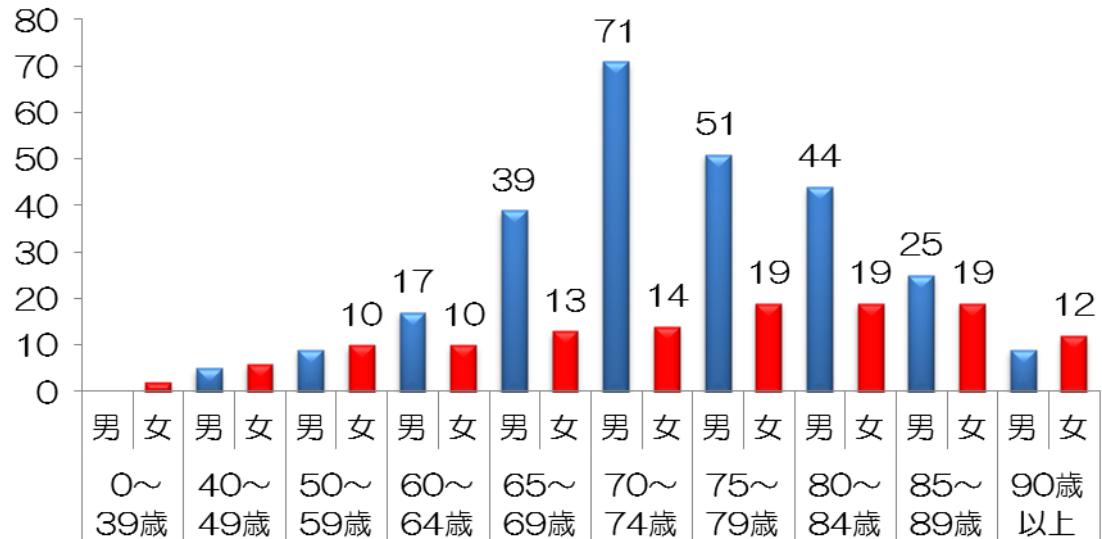
食道



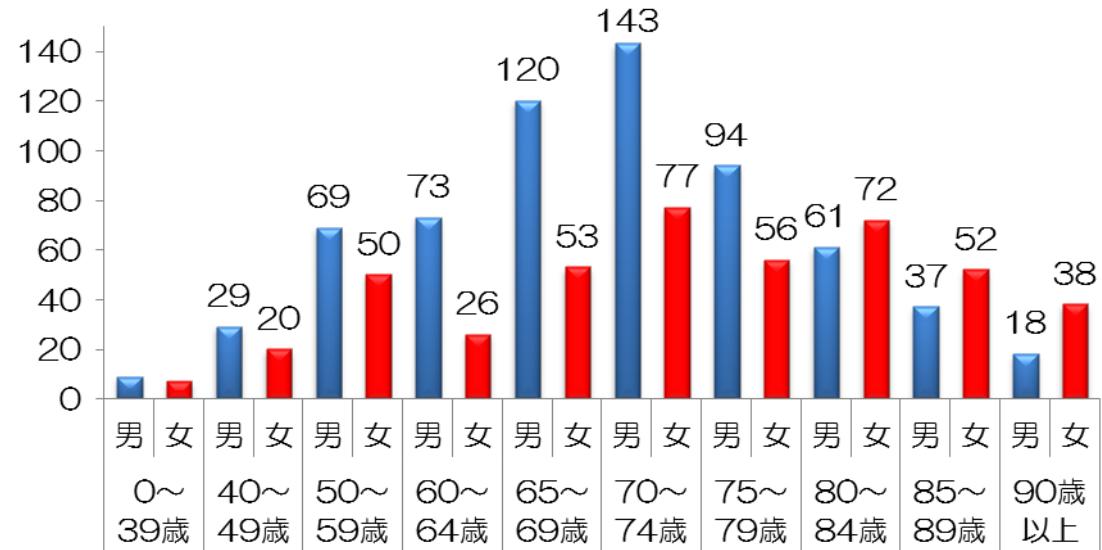
年齢別登録数 (2020 年～2024 年主要 5 部位)

※9 例以下については、症例数を表示しておりません。

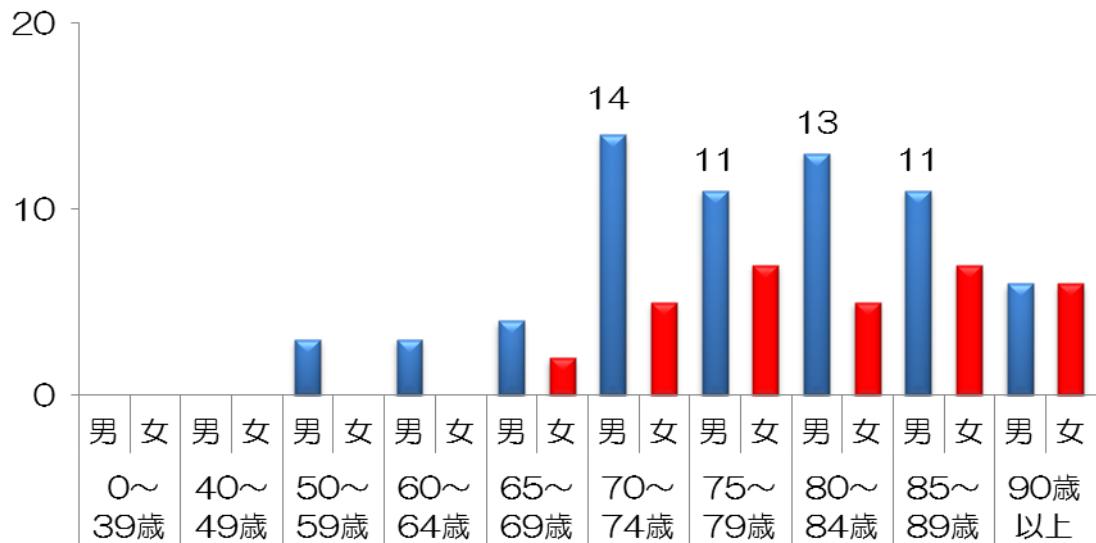
胃



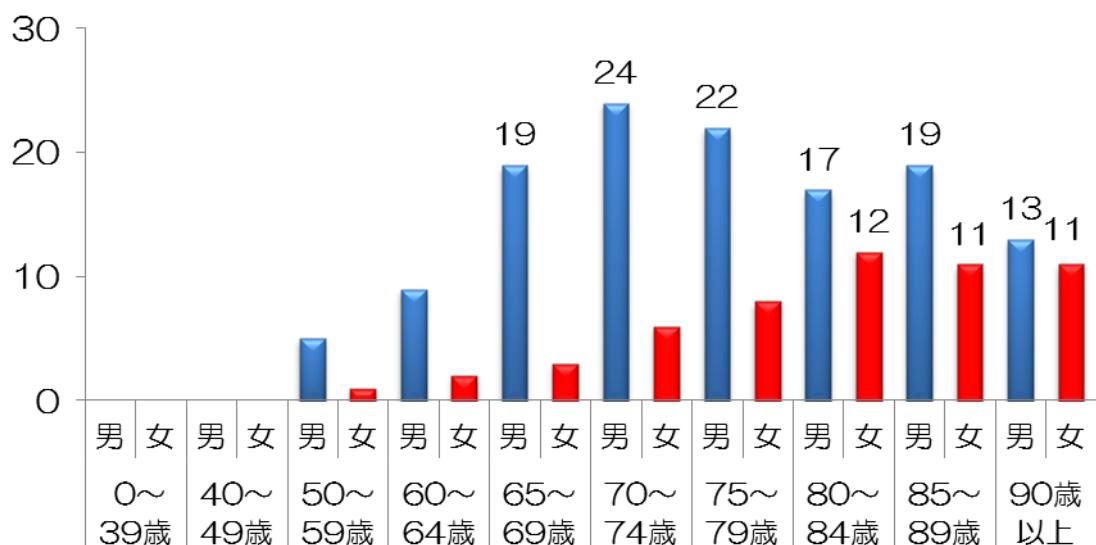
大腸



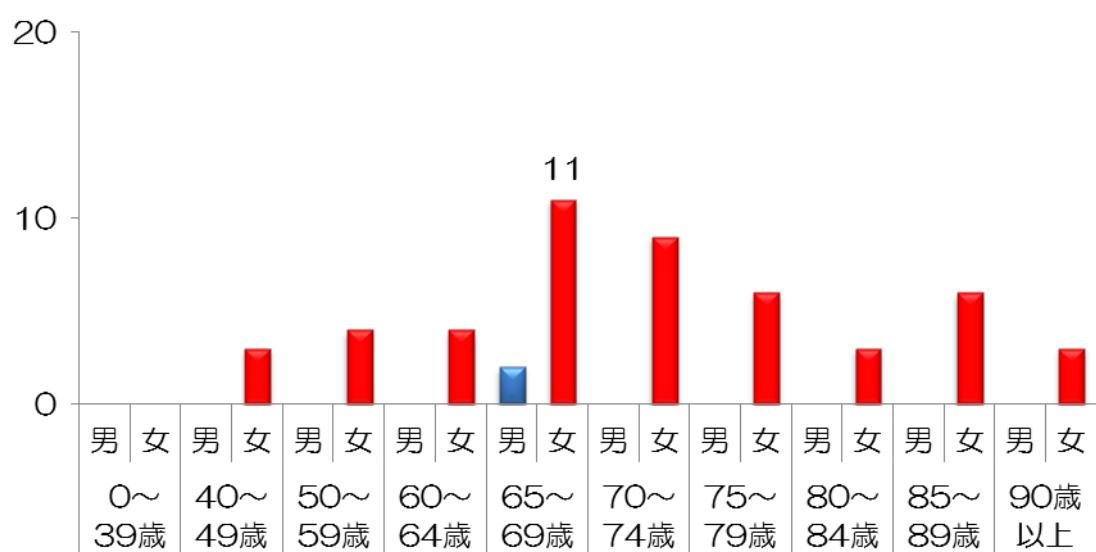
肝臓



肺



乳房

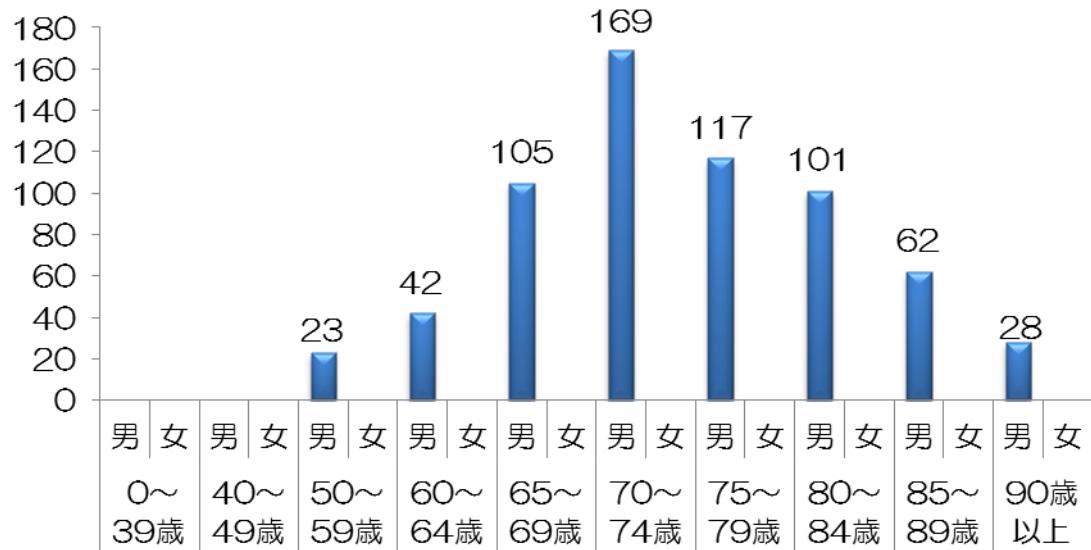


年齢別登録数（2020年～2024年主要5部位以外）

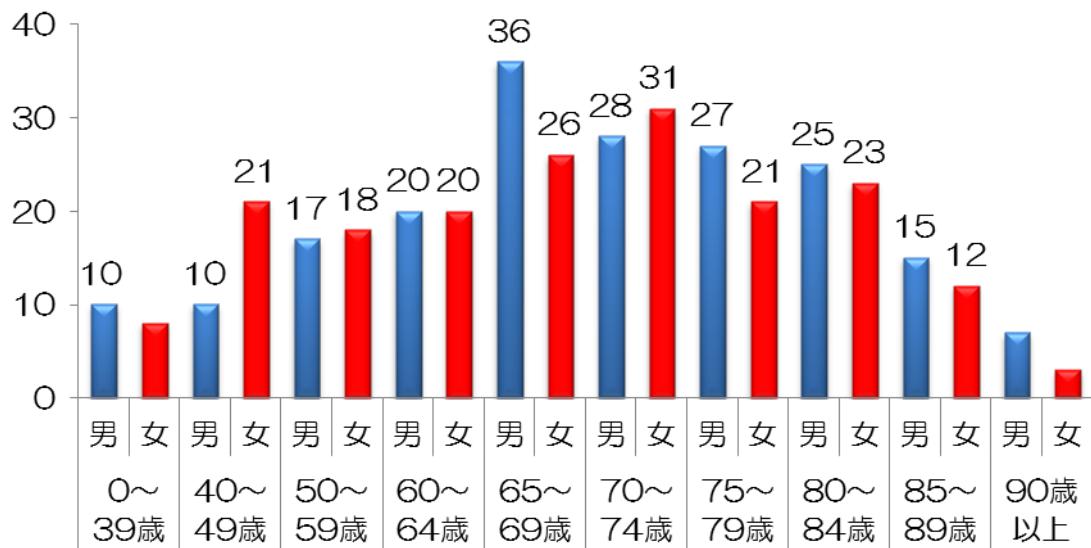
※5年間の総症例数が50例以上のものを掲載。

※9件以下については、症例数を表示しておりません。

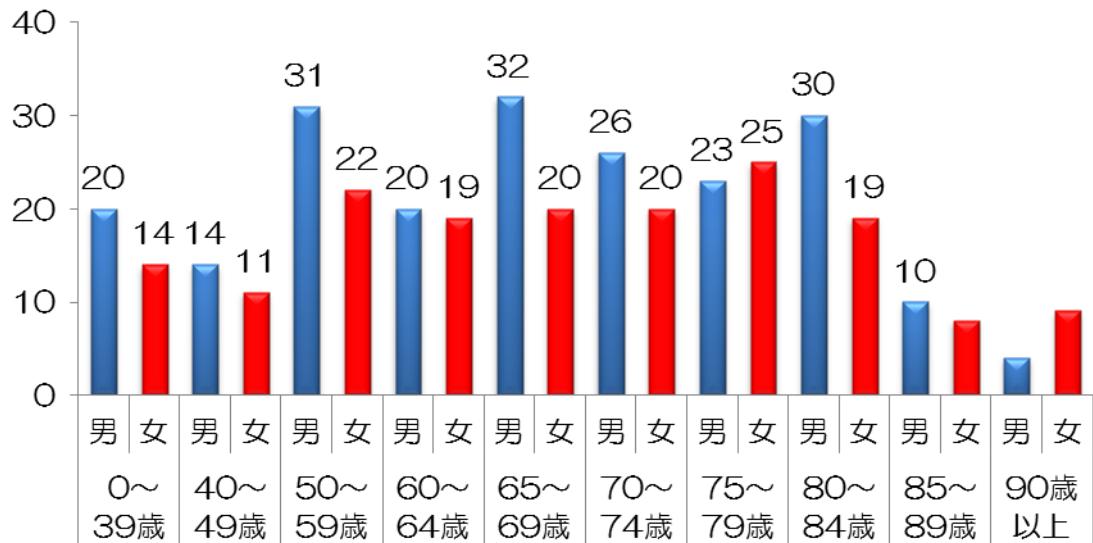
前立腺



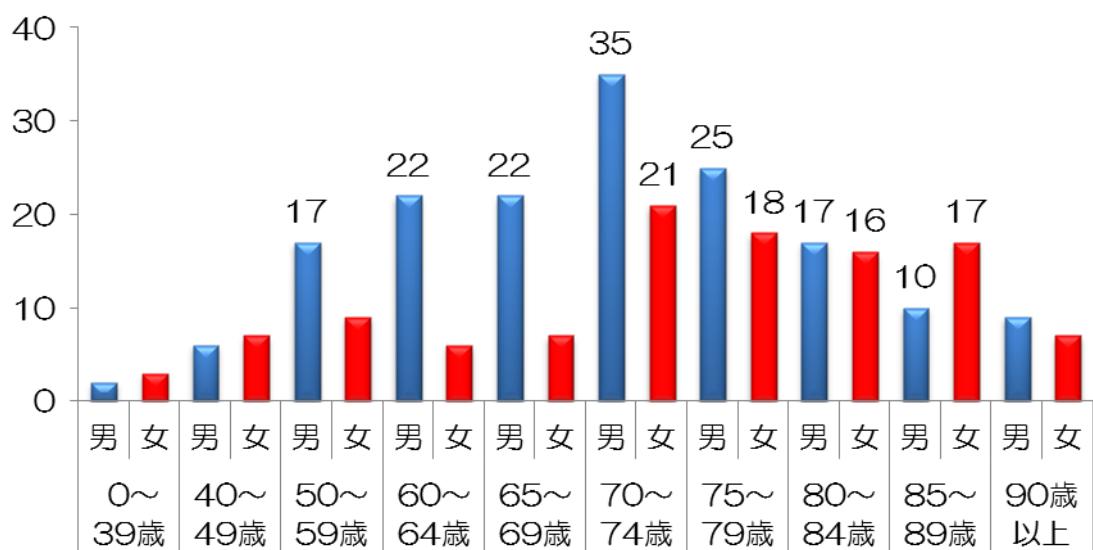
悪性リンパ腫



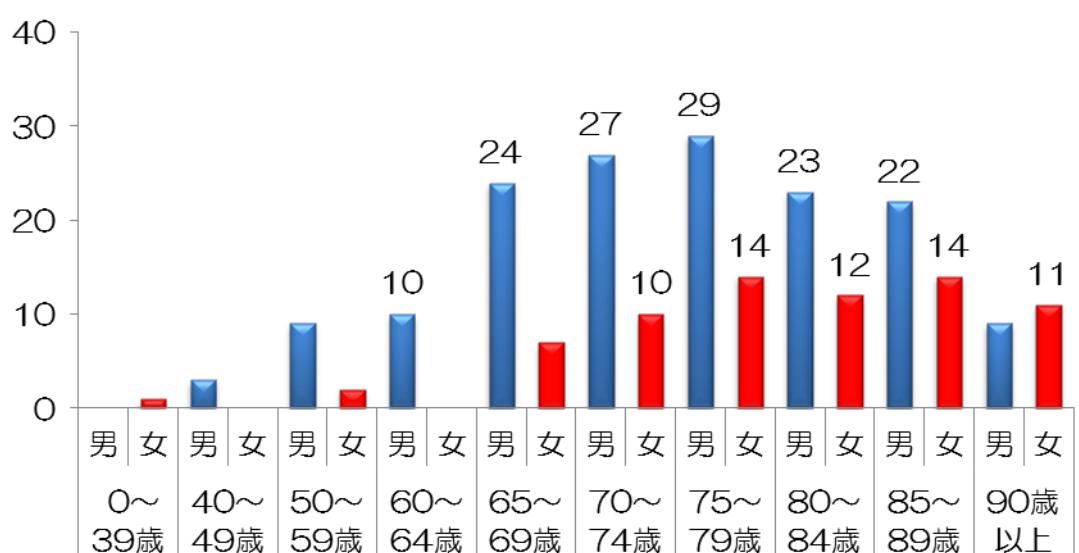
白血病



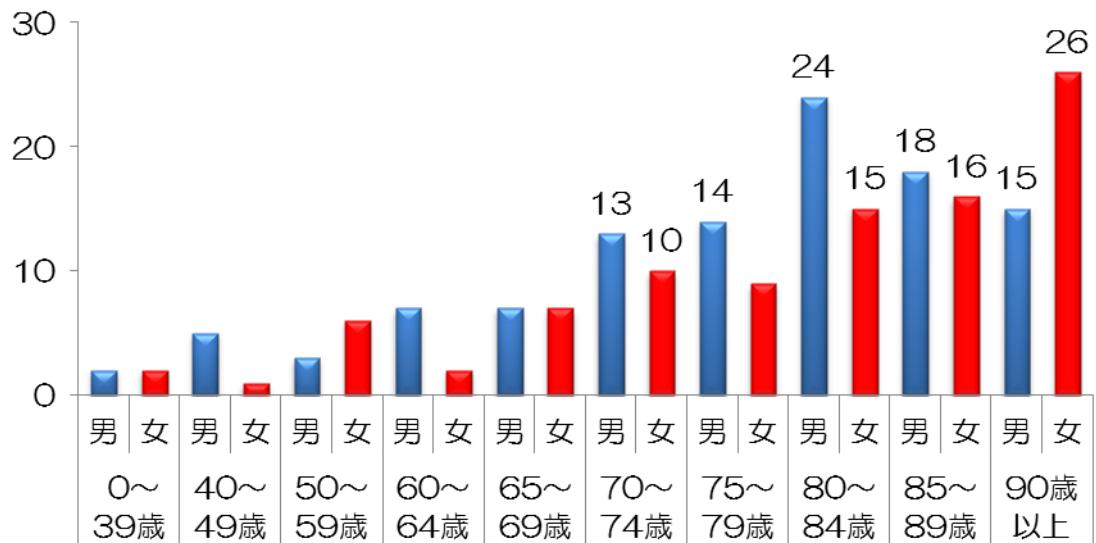
他の造血器腫瘍



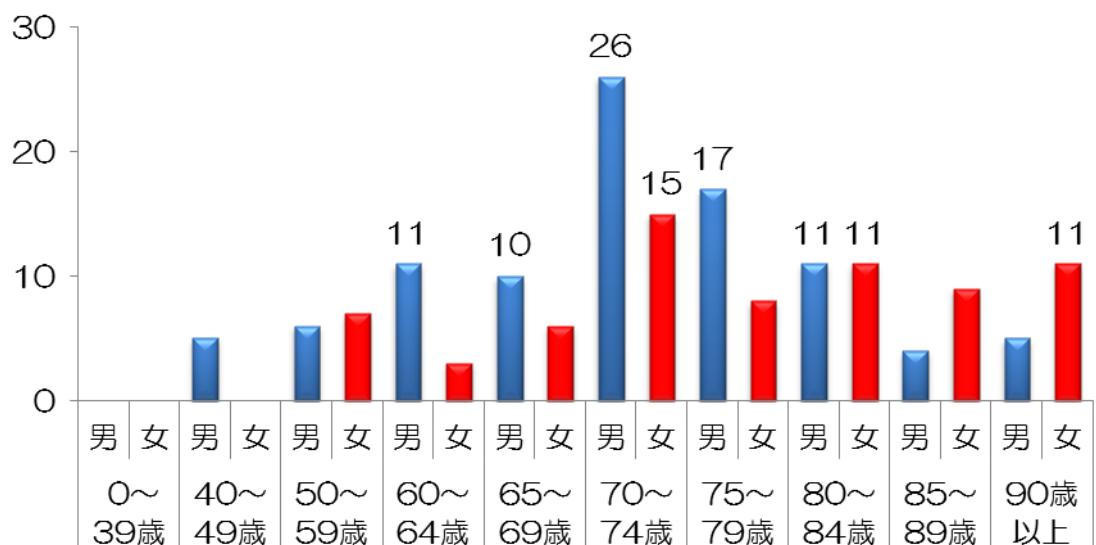
膀胱



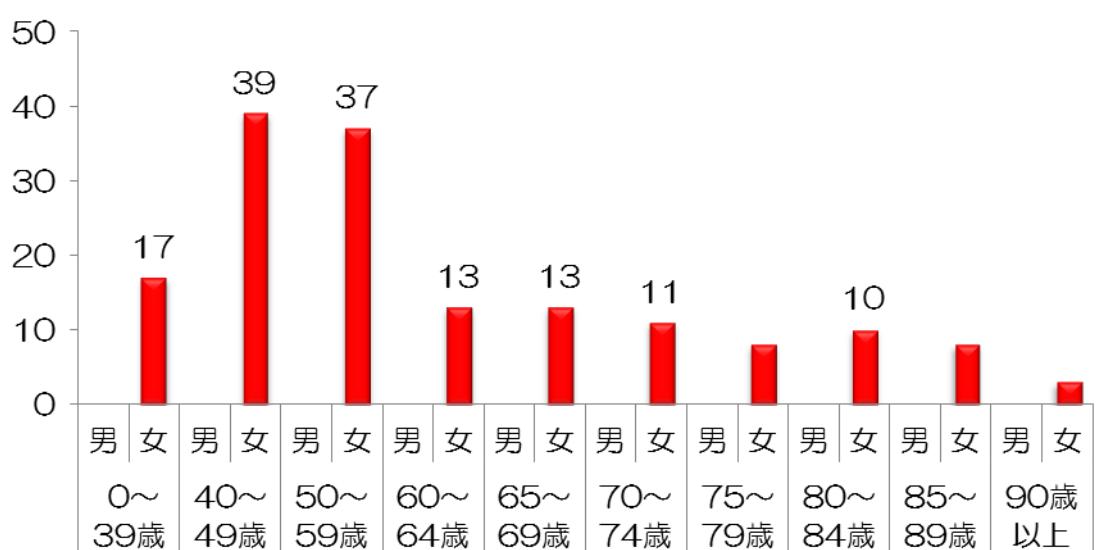
皮膚（黒色腫を含む）



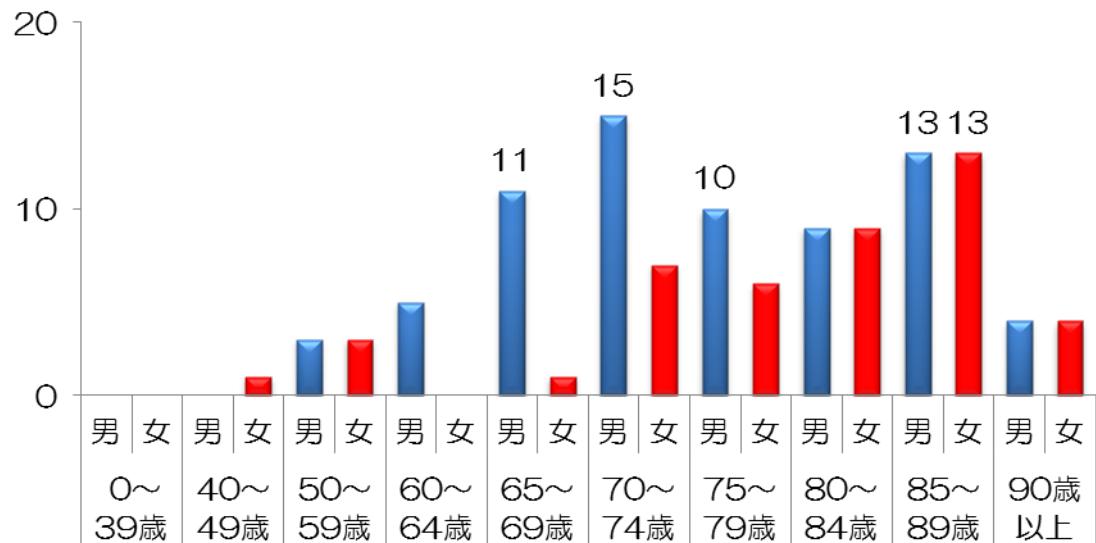
膵臓



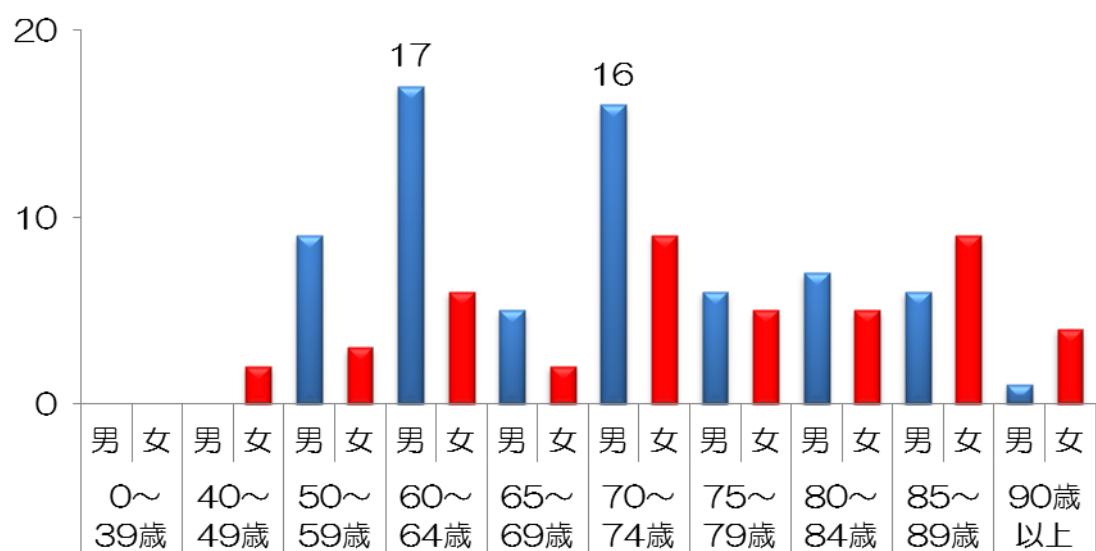
子宮（子宮頸部・子宮体部）



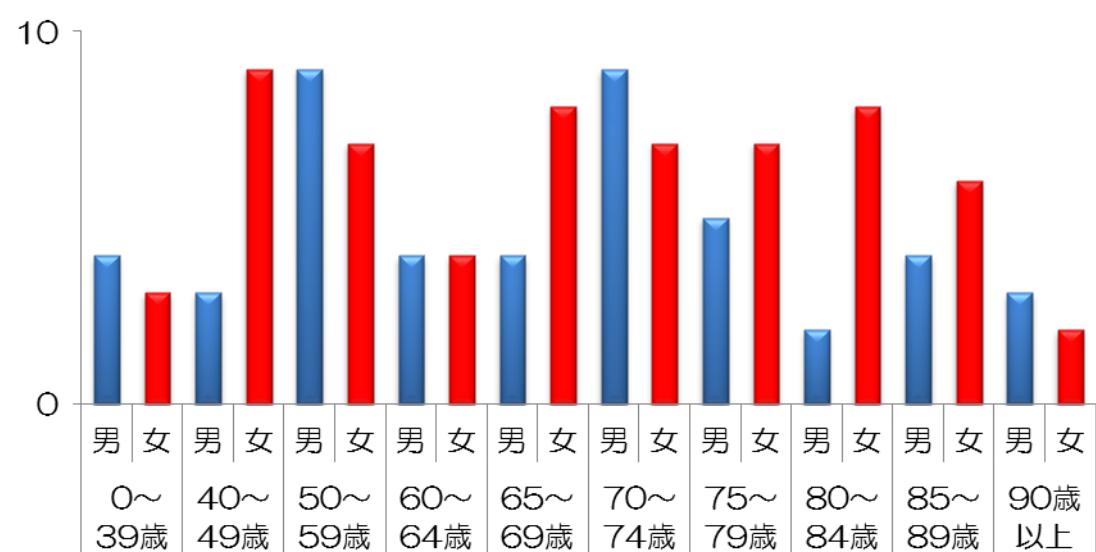
腎孟・尿管



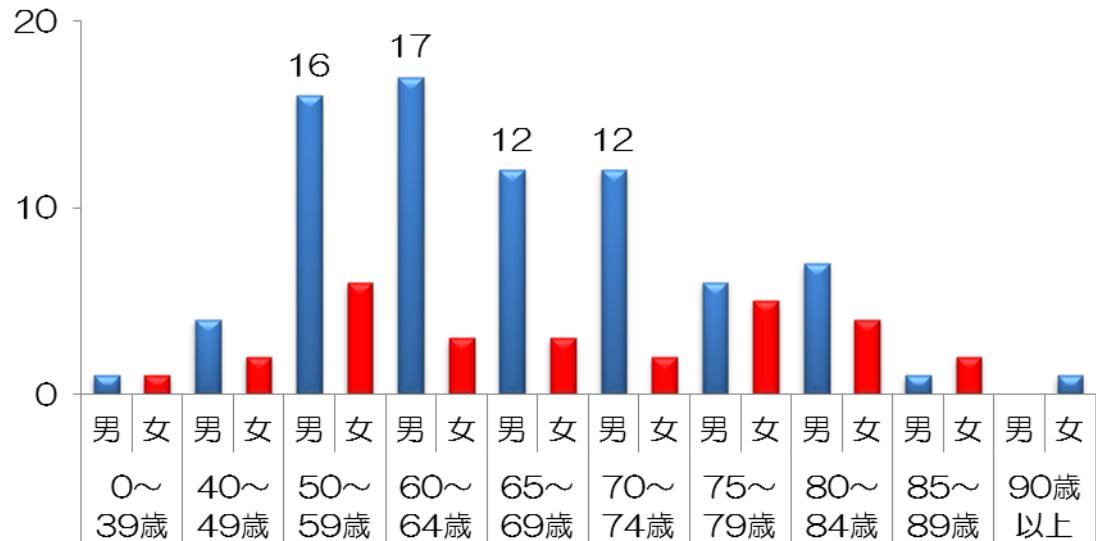
多発性骨髓腫



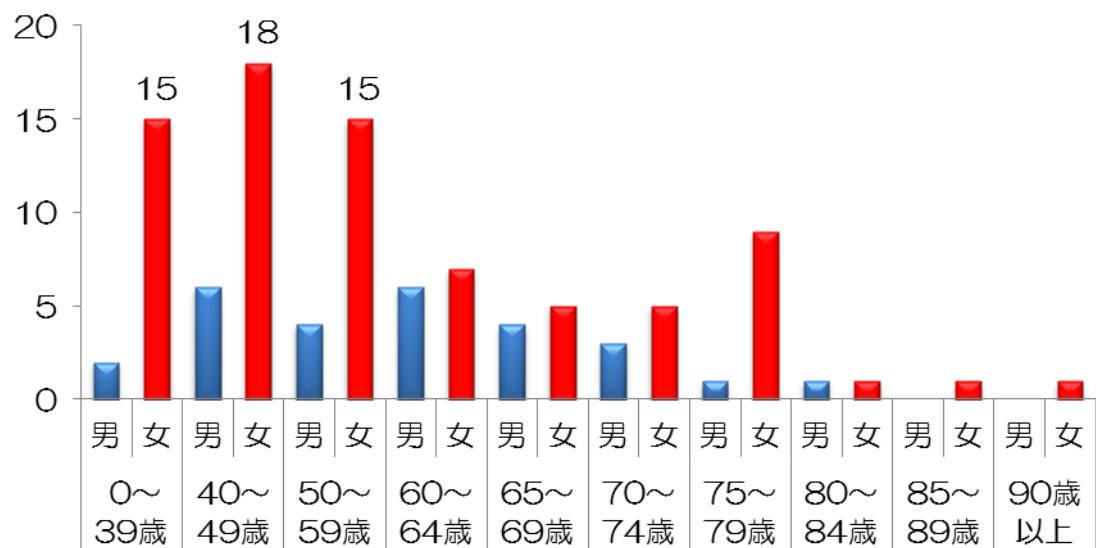
脳・中枢神経系



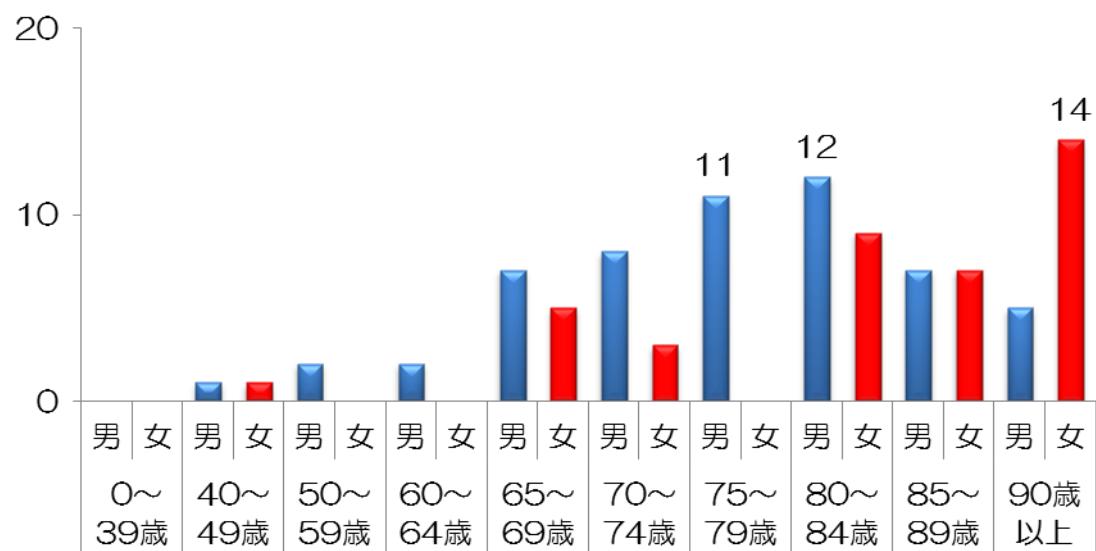
腎



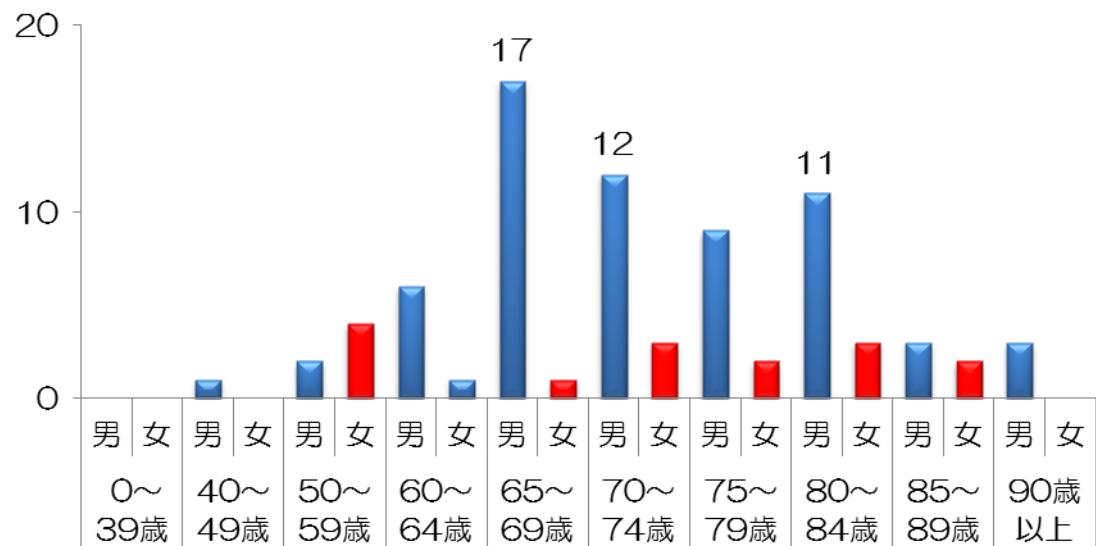
甲状腺



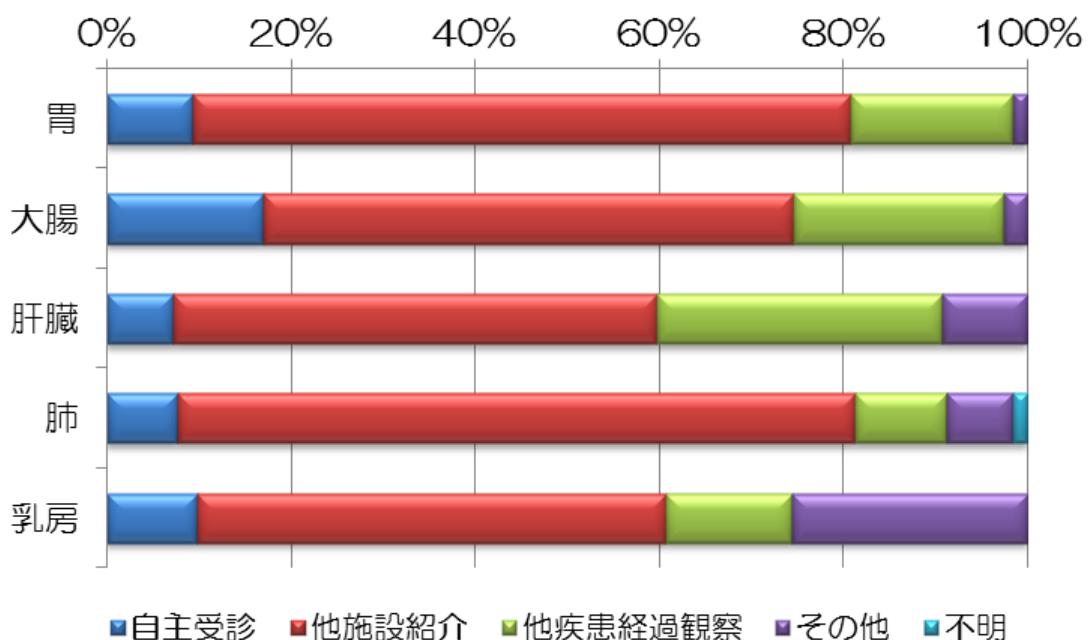
胆嚢・胆管



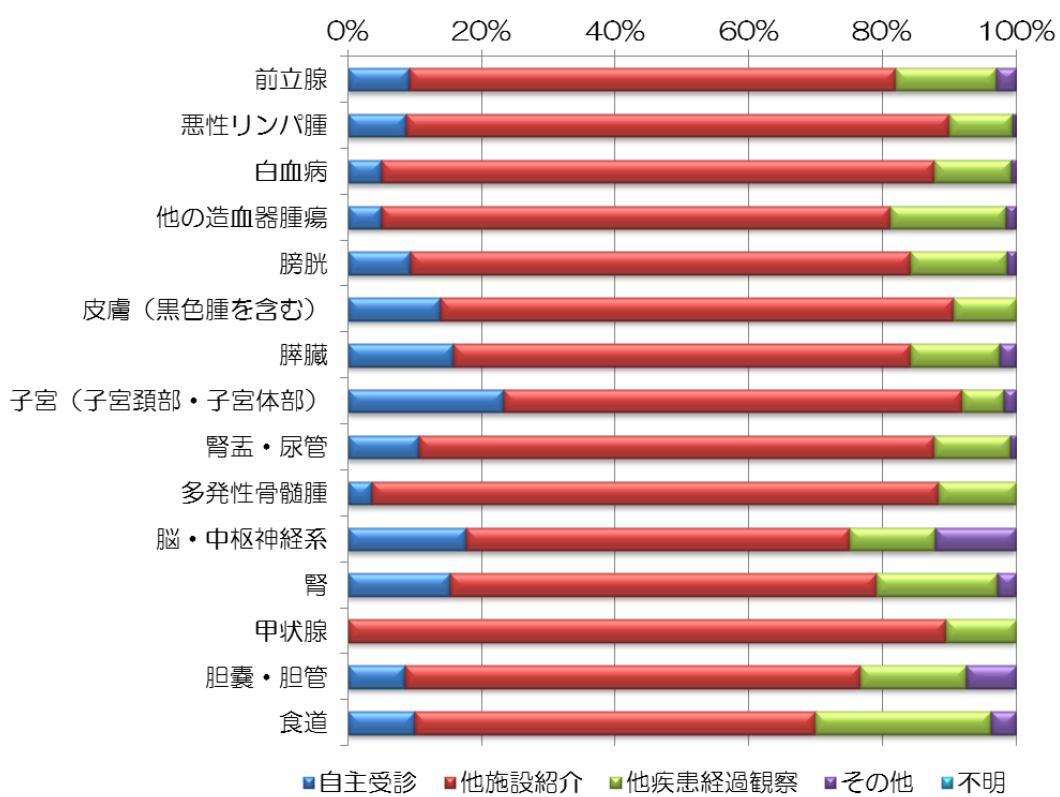
食道



来院経路別登録割合 (2020年～2024年主要5部位)



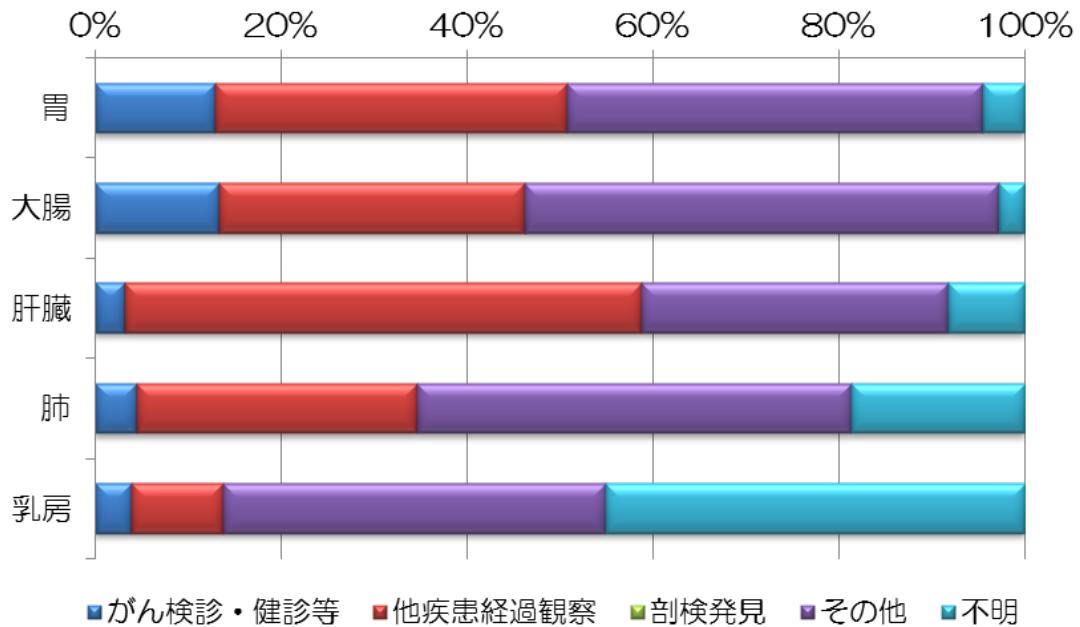
来院経路別登録割合 (2020年～2024年主要5部位以外)



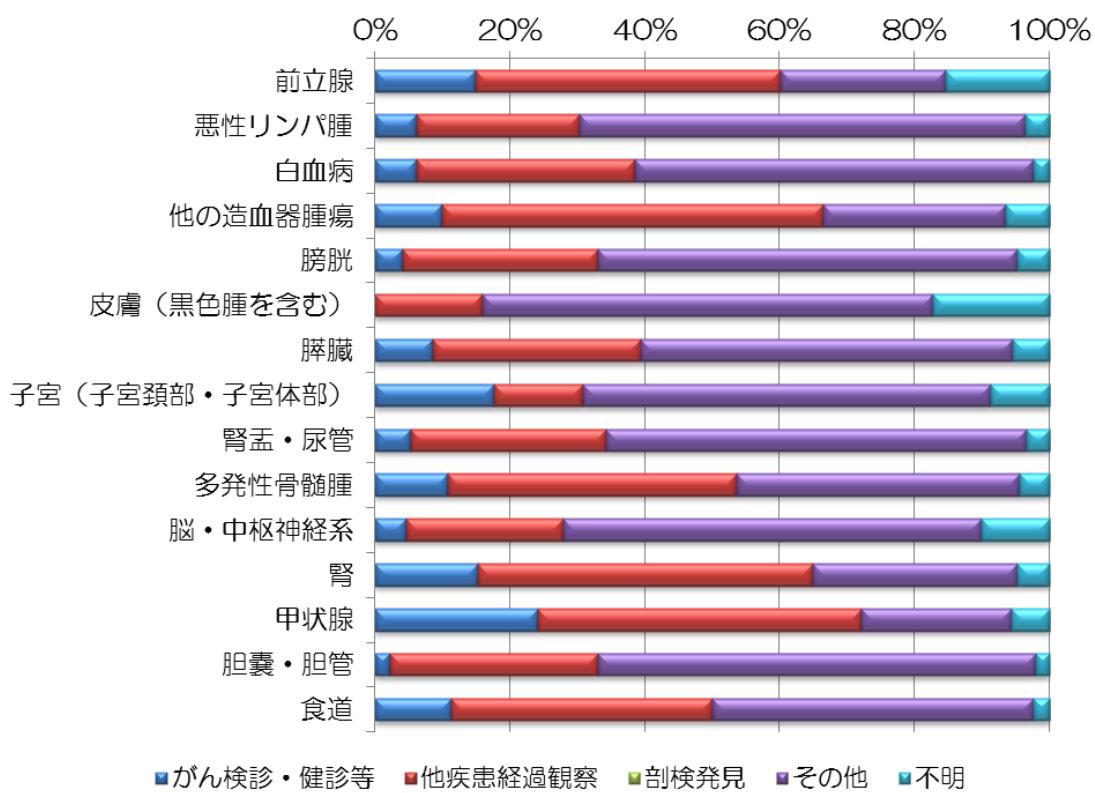
来院経路は、患者さんがどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察することが可能となります。

当院の特徴としては、他医療機関からの紹介で受診し「がん」が発見される割合が高い傾向にあります。

発見経緯別登録割合 (2020年～2024年主要5部位)

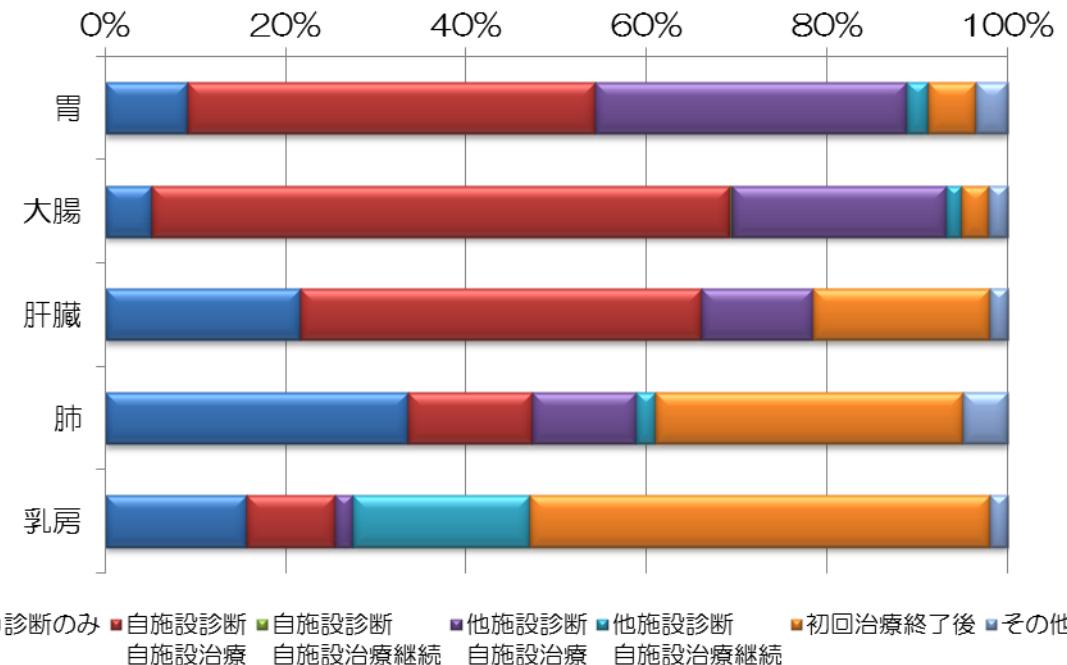


発見経緯別登録割合 (2020年～2024年主要5部位以外)

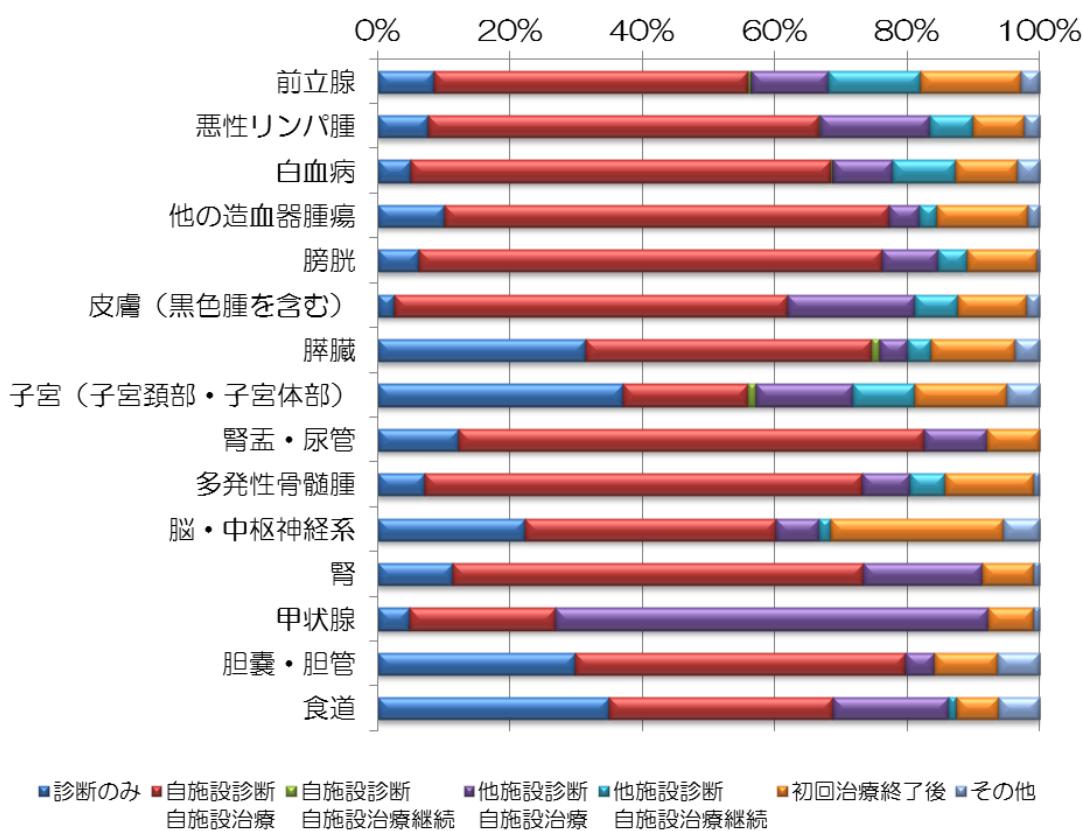


発見経緯は、当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握することが可能となります。
「がん検診・健診等」の割合は、有症状受診前に発見されたことを示す一つの指標になります。

症例区分別登録割合 (2020年～2024年主要5部位)



症例区分別登録割合 (2020年～2024年主要5部位以外)



がんの診断から再発治療までの一連の治療の流れの中で、主にどのような役割を担っているのかを推察することが可能となります。

ほとんどの部位において、がんの診断から初回治療導入までの役割を担っています。